

平成25年度 学校評価表

雲石町立南畑小学校

経営理念	『明るく かしこく たくましく』を求めて	教育目標	○ 明るく助け合う子ども ○ かしこく工夫する子ども ○ たくましく根気強い子ども
		経営の重点	1 社会の変化に対応する教育の推進（「いわて型コミュニティースクール構想の実践」） 2 確かな学力をはぐくむ教育の推進 3 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進 4 健やかな体をはぐくむ教育の推進

評価計画				自己評価			学校関係者評価			改善計画		
教育目標	まなびフェスト	達成のための方策	評価指数	目標値	7月達成値	1月達成値	結果と課題の説明	イ	ロ	ハ	コメント	改善案
明るく助け合う子ども	<ul style="list-style-type: none"> 「元気な挨拶・返事」を進んでできるようにする。＜学校＞ 家族にも近所の人たちにも進んで「元気な挨拶・返事」をする。＜家庭＞ 	<ul style="list-style-type: none"> 学級経営の充実、好ましい人間関係と集団生活のルール指導の徹底 基本的な生活習慣を確立するための家庭と連携した取組の推進 	習慣化できた児童の割合（教師・保護者による評価）	85	83	「元気な挨拶」を教育振興運動の重点の一つとして取り組んできた。低学年の一部児童が学校でできていない。	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 全ての項目に通ずるが、目標設定と同時に目的意識を子どもたちの心に真に定着させることが肝要である。 朝の挨拶で元気のない子が見受けられる。元気以外にも笑顔の挨拶ができればすばらしいと思う。 南畑スポ少としても挨拶を含めた精神面の指導も取り入れているが、「元気な挨拶」を教育振興運動の一つとして継続して取り組んで欲しいと思う。 中・高学年は地域の方々に対してはよく挨拶ができていると思うが、低学年は恥ずかしさがあるのか本当に顔見知りの方が相手から挨拶をしないと声を出してくれないことが多い。学校はもとより家庭で挨拶の大切さを教えていく必要がある。 	○児童一人一人の実態把握に努め、できていない原因をさぐり、その原因に基づいた対応を行っていく。	
	<ul style="list-style-type: none"> 「係活動・清掃」などに協力して取り組ませる。＜学校＞ 家族の一員として、「自分の仕事」を行う。＜家庭＞ 		習慣化できた児童の割合（教師・保護者による評価）	85	75	家庭でのお手伝いの習慣化ができていない児童が31人中17人である。	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 習慣化となれば進んでお手伝いをするのだが、「指示されて理解する。行動を起こす」段階である。 学校の取り組みは達成値に近いと思うが、家庭での仕事分担に難しい面がある。家族ぐるみの取り組みが必要と思われる。 	○家でのお手伝いの習慣化に関しては、児童や保護者にお手伝いの大切さを理解してもらい、家庭と連携して取り組んでいく。	
かしこく工夫する子ども	<ul style="list-style-type: none"> 習った漢字と計算を確実にできるようにする。＜学校＞ (1、2、3年…90%以上 4、5、6年…85%以上) 毎日家庭学習をする。＜家庭＞ (1、2年…20分以上 3・4年…40分以上 5・6年…60分以上) 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字・計算検定の実施 朝学習、ステップアップタイムの充実 家庭学習と授業の連動 ノーゲームデーの取組の推進 	学年ごとの目標達成の割合 家庭での学習の様子（保護者による評価）	85	83	学校での達成状況はほぼ満足のいく数値であったが、「毎日家庭学習をする」に関して、達成できた児童が31人中24人である。	5	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習は、義務・責任的感覚で行われている。おおむね良 家庭学習も自分から進んでできるようにすれば良いと思う。家族が声をかけて見直し作業を手伝えればさらに向上すると思う。 親が忙しいと言いつつ、子どもの宿題の成果を見ないでしまうので、子どものために少しでも時間を作らなければいけないと思う。 朝学習の取り組みはたいへん良いと思う。ノーゲームデーの取り組みを家庭にもっと浸透させていくように働きかけをしていってもよいのではないだろうか。 	○毎日の家庭学習に関して、学力向上に欠かせないことから、学年の発達段階に応じた手立てを再度確認し、学校全体としての取り組みを進めていく。○児童一人一人の実態把握に努め、できていない原因をさぐり、その原因に基づいた対応を行っていく。	
	<ul style="list-style-type: none"> 読書活動に積極的に取り組む。＜学校＞ (1、2年…100冊以上 3、4年…60冊以上 5、6年…40冊以上) 夏休み、冬休みには親子読書に取り組む。＜家庭＞ 	<ul style="list-style-type: none"> 本に親しむ活動の充実 各学年の「おすすめの本」の紹介 	学年ごとの目標達成の割合 家庭での学習の様子（保護者による評価）	85	51	読書の目標冊数を上回った児童が31人中16人である。ことに、高学年が目標冊数に達していない。	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 本に親しむから本を楽しむところまで進んでいない気がする。目標冊数は大切だが、ねらいとする重点は、「楽しむ・おもしろい・興味」から培われる。個人的に時期は違うと思うが、本の魅力を自覚させる意識をもたせてあげることが望ましい。(本から受ける感動、魅力) 夏休み、冬休み期間中の本の貸し出しをもっとアピールしてはどうか。低学年は楽しんで本を借りているように思える。 予想はしていたが、達成値が低いのはやはり問題あり。最重点課題として取り組んでいくことは賛成。 	○読書に関して、2学期以降の最重点課題として取り組んでいく。○読書活動に関して、先進校の事例に学び、できることを積極的に取り入れていく。	
たくましく根気強い子ども	<ul style="list-style-type: none"> 時間を守って「リズムある学校生活」を過ごす。＜学校＞ 「早寝・早起き・朝ごはん」を行う。＜家庭＞ (※寝る時刻の目標 1、2年…9時前 3、4年…9時 5、6年…9時30分) 	<ul style="list-style-type: none"> チャイム席、5分前行動の励行 好ましい食生活と食事のマナー指導の徹底 	習慣化できた児童の割合（教師・保護者による評価）	90	83	学校では、低学年の一部の児童が時間を守って「リズムある学校生活」を過ごすことができていない。家庭では、高学年の一部の児童が「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化ができていない。	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 規律ある行動、秩序ある行動を培うことは人の行為の基準となるもの。時にも柔軟な精神をもつ小学生の年代に培って欲しい。概ね良とする。 早寝、早起きは親と同じリズムになりがち子どもが多いと思う。親も子どもとできるだけ同じ時間に「おはよう、おやすみ」を言葉に寝起きしたい。 時間を守るといことはこれからの生活の中でも大切なことなのでリズムある生活が送れるようもっと家庭に協力を求めてもよいのではないかと。 	○児童一人一人の実態把握に努め、できていない原因をさぐり、その原因に基づいた対応を行っていく。	
	<ul style="list-style-type: none"> 給食後の「歯みがき」に取り組む。＜学校＞ 休みの日の食後に「歯みがき」をする。＜家庭＞ 	<ul style="list-style-type: none"> 歯みがき指導の推進 	習慣化できた児童の割合（教師・保護者による評価）	90	87	休みの日に歯みがきができていない児童は31人中23人である。	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 学校の保健指導が功を奏していると感じる。 歯みがきの習慣というより「むし歯ゼロ」を目指して親が必ず仕上げをするくらいの意識をもって欲しい。 本来「しつけ」の一つなので、保護者が意識を高くもち、声かけをして歯みがきの大切さを教えて欲しいと思う。 学校で取り組んでいるバディー歯みがきはとてもよいと思う。低学年もどこをどのようにみがいたらよいか明確に指示を受けているので、家でも積極的に行っている。 	○歯みがきの習慣化に関しては、全員目標達成を目指して家庭と連携した取り組みを進めていく。	
	<ul style="list-style-type: none"> 「マラソン」や「縄跳び」に取り組む。＜学校＞ 縄跳びや外遊びをする。＜家庭＞ 	<ul style="list-style-type: none"> 「はつらつタイム」の継続的な推進 「歩く習慣」「外遊び」の奨励 	習慣化できた児童の割合（教師・保護者による評価）	90	91	満足のいく結果であったが、家庭での縄跳びや外遊びといった体力づくりをさらに進めていきたい。	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 体力づくりを通してたくましさや根気を養う取り組みはとても良い。不屈の精神を学ぶためにも少しの競争力や目標を与えてあげるのも良いかもしれない。 地域の子どもの数が少なく、昔のようにみんなで外遊びをすることができなくて孤立しがちな気がする。 ゲームが遊びの中心となっているなか、達成値が高いので、冬に向けても継続して体力づくりをして欲しい。スポ少としても力を入れていきたいと思う。 外でもよく遊んでいます。外遊びはいい思い出になります。 	○今の状況を維持していきたい。ことに、縄跳びに関しては、外での遊びができない時の体力づくりの有効な手立てとして継続して取り組んでいきたい。	

【学校関係者評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。ハ：わからない。
※学校関係者評価をお願いした方々…学校評議員3名、PTA会長1名、PTA副会長2名 計6名